

進捗報告書（実行団体）

事業名:	コロナ禍でも届く持続可能な食支援強化事業
資金分配団体:	一般社団法人全国フードバンク推進協議会
実行団体名:	認定特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	福岡県北九州市及び近郊地域
事業対象者:	経済的困難を抱える子育て世帯、子ども食堂に参加している 子育て世帯、母子寮、北九州市母子寡婦福祉会会員のひとり 親家庭など

Version 1.2

日付: 2021年10月26日

I. 事業概要

事業概要
コロナ禍で増大する食品寄贈を無駄にすることなく、北九州市及び近郊で増大する要支援世帯にしっかりとお届けし、必要な包括支援につなげるために、まずは食品保管倉庫の整備を含めた管理体制及びトレーサビリティーの効率化を図る。2つ目は要支援者がストレスなく食品を受取れるよう、食品配送や受取拠点を含めた流通システムを、行政・企業・大学・社協、それに子ども食堂・パートナー提携している120の福祉施設等と連携して構想を練り、効率化を図る。3つ目は食品管理業務と個人支援の相談業務を滞らせないよう職員1名雇用しゆとりのある支援体制を築く。4つ目は持続可能な運営体制を構築するためのファンディングを強化する。

II. 進捗報告の概要

総括
助成事業で計画したことは、ほぼ順調に進んでいる。毎月の定例会で資金分配団体と協議できることで不安もなく、細かいことについても相談できている。食品配布の効率化についても、配布先にアンケートを行ってニーズ調査をするなど、一体感を持って進められているのではないかと感じる。他団体との連携も強化されつつあるが、特に市行政との連携が一気に加速し、今後の事業拡大を可能にする体制について準備する必要があると考えている。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
産官学民との多団体連携によって構築されたフードバンクシステムを活用し、北九州市及び近郊地域に、食品寄贈が再廃棄されず、非常時においても費用をかけずに要支援者に食料がしっかりと届けられていること。次に要支援者に寄り添い、ニーズを拾い出して食料支援から包括支援につなげられる連携ネットワークが広がっていること。最後に止めてはいけない活動ゆえ、安定した継続雇用ができるよう資金調達強化されていること。	・当法人がチームリーダーとなって進めた研究事業により設立した一般社団法人福岡県フードバンク協議会だけでなく、北九州市、近隣商業施設等との連携強化が進んでいる。今後、SNSを活用して、消費期限のある食品のロス削減、外食産業のロス削減についても検討していきたい。 ・今年度になって、市事業の受託、アウトリーチのために行政情報に当法人の情報を載せていただくなど、市行政との連携が一気に進んだ。今後、行政では進めにくいこと、民間ではできないことなどについて、連携によって新たな解決策を生み出していきたい。 ・軸となる資金調達（マンスリーサポーターの確保）は着実に進めつつ、多様な資金調達にもチャレンジしていきたい。今年末にはクラウドファンディングを実施する予定である。

活動	進捗状況	概要
1. 倉庫の整備 2. 食品配布の効率化 3. 人材確保 4. ファンディング	ほぼ計画通り	1.倉庫の棚や折り畳みコンテナ、台車を揃えた。倉庫内のレイアウトも管理しやすい状態に変えた。 2.生協の支所をお借りしての食品配布を検討し、10月よりスタートすることができた。 3.事業系1名、管理系1名を臨時雇用し、支援体制強化に繋ぐことが出来ている。 4.認定NPO法人として税制優遇を受けられること、クレジットカードによる寄付など案内できるチャラシができ、年次報告書と合わせて配布した。すぐに6名のマンスリーサポーターを獲得できた。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>（団体として、事業実施後（1年以降）に目標とする状態への指標等を設定している場合、ご記載下さい） 当法人の中期計画において、マンスリーサポーター獲得目標、目標寄付額を計上しており、予算と実績を記載する。 ・マンスリーサポーター2021年度末目標：104人…2021年9月末現在81人 ※10月のマンスリーサポーター登録者7日増加 ・マンスリーサポーターによる2021年度寄付額：300万円…2021年9月末現在125万5千円 ・2021年度寄付総額：1150万円…2021年9月末現在：539万円</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥3,333,500	¥3,333,500	¥1,468,263	44%
	管理的経費	¥0	¥800,600	¥800,600	¥262,461	33%
合計		¥0	¥4,134,100	¥4,134,100	¥1,730,724	42%
補足説明		特になし				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>事業体制を整え、規模を拡大する中で必要に迫られ近隣に倉庫を賃貸借したが、今後の賃料が負担となってくる。現在、倉庫の賃料は全体で1ヶ月115,000円となり、経費負担が重くなっている。市行政に対して倉庫の提供などフードバンク支援を要望しており、市議会における市長答弁でも積極的支援が期待できるが、フードバンクの事業インフラ整備に関わるコスト分担について適切な解決策を求めていかなければならない。また、合わせてボランティア含めて人材確保が急務である。フードバンクの業務に携わる人材は、その理念を共有できることが必要であり、今後の大きな課題となるであろう。</p>

VII. その他

自由記述
特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）		<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市市報9月1日号：「SDGs 推進の取り組み事例」 ・YouTube対談「おしゃべりSDGs」9月14日：北九州市SDGs 推進室室長と1時間対談 ・エフコープ生活協同組合発行「総代通信US」：エフコープ環境助成金 ・健和会の定期雑誌「パートナー」に活動紹介
広報制作物等		<ul style="list-style-type: none"> ・マンスリーサポーター募集チラシ（10月8日発送） 3000部 ・2020年度年次報告書「サンクスレポート2020」（10月8日発送） 2000部
報告書等		特になし

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	